

米国ウースターポリテクニクインスティテュート(WPI)とのGPBL(派遣)

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2023年08月15日 ～2023年08月22日	アメリカ	ウースター工科大学	機械機能工学科、 機械工学科、 機械工学専攻 学部3年生、 学部4年生、 修士1年生、 修士2年生	(芝浦工業大学) 学生3名、学生バイト1名、 教員2名 (ウースター工科大学) 学生3名、教員1名	小野 直樹 (機械機能工学科)、 斎藤 寛泰 (機械機能工学科)

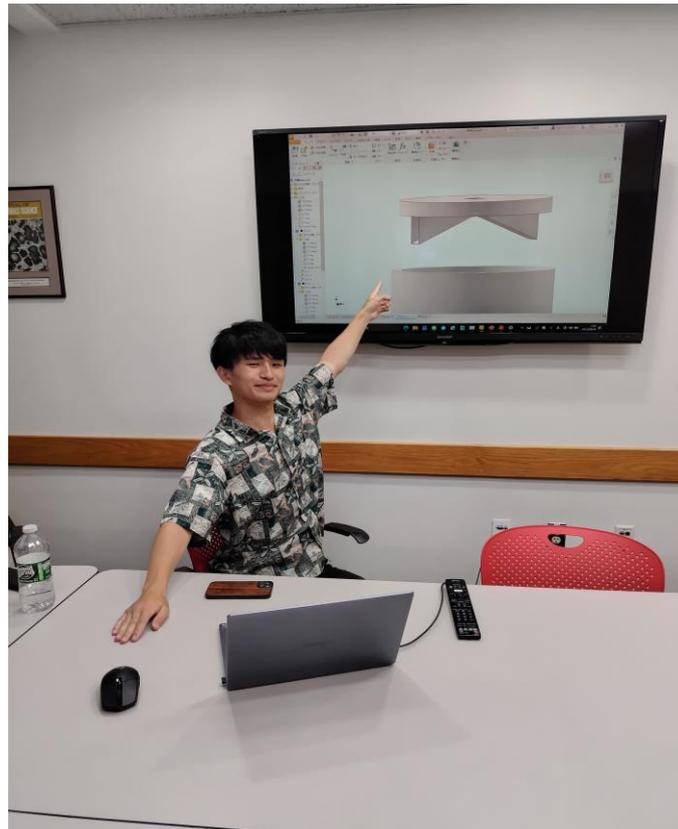


図1 プレゼンテーション

アメリカウースター工科大学(WPI)でのgPBLでは、機械工学科のPowell教授のテーマ設定によって、マグネシウムの蒸留抽出のための新しいプロセスに関する熱流体工学的な課題についてのディスカッションを行った。高温の溶けた金属の液相と蒸気相が封入された容器を数段ほど上下に連結した装置の中の蒸気の流れや浮遊液滴の制御方法について皆で具体的に考えて提案した。実験装置も見ることができ、機械工学の知識をフルに動員できた有意義な内容であった。またボストン中心部のMITも訪問し、最先端の研究に触れることもできた。以上



図2 WPIの建物



図3 パウエル先生



図4 実験装置



図5 パウエル先生との議論



図6 実験室



図7 最終日の夕食会